

## 第 3 回 経営協議会 議事要録

1 日 時 平成18年1月23日（月）14時00分から15時15分

2 場 所 事務局第一会議室

（議事に先立ち、学長から、『国立大学法人化の荒波を乗り越えよう』と題して、2期目に向けての取組方針などについて、別紙資料により説明があった。

これに関連し、齋藤委員から、研究費は外部資金等でも対応できるが、教育経費は運営費交付金で支弁する必要がある、その対応が課題になるのではないかとの意見があり、飯泉委員から、予算が厳しくなると地域貢献等も厳しくなると思うが、県としてもバックアップできるものはバックアップするので、よろしくお願ひしたい。また、地域への医師の定着度が問題になっているので、前広に検討いただきたいとの要望があった。）

### 3 議 題

(1) 平成18年度学内予算編成方針（案）について

財務部長から、平成18年度学内予算編成方針（案）について、前年度との変更点を中心に別紙議題1資料により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

### 4 報告事項

(1) 中期目標及び中期計画の変更申請について

黒田理事から、予算内示のあった大学院保健科学教育部の新設並びに工学研究科を廃止し大学院先端技術科学教育部を設置することに伴う中期目標及び中期計画の変更について、別紙報告1資料により報告があった。

また、中村理事から、行政改革の重要方針が閣議決定され、今後5年間で国家公務員を5%以上純減することとし、国立大学法人も国家公務員に準じた人件費削減の取り組みを行うことを中期目標において示すこととされたことへの対応について、現在文部科学省と折衝中であり、詳細が決まっていないため、改めて検討していただくこととしているとの説明があった。

(2) 平成16事業年度における決算剰余金の翌事業年度繰越額について

財務部長から、平成16事業年度における決算剰余金の翌事業年度繰越額について、12月20日付で7億5千3百万円が目的積立金として承認された旨文部科学省から通知があったとの報告があった。

(3) 平成18年度国立大学法人運営費交付金等内示額について

財務部長から、平成18年度運営費交付金内示額、新規組織整備等について、別紙報告3資料1により報告があった。

引き続き、施設マネジメント部長から、国立大学法人施設整備費補助金等実施予定事業について、別紙報告3資料2により報告があった。

(4) 平成17年度徳島大学収入・支出状況（平成17年度決算見込）について

財務部長から、平成17年度徳島大学収入・支出状況（平成17年度決算見込）について、別紙報告4資料により報告があった。

齋藤委員から、理系の実習経費が厳しくなっていると思うが、国立の剰余金を充当することは可能かとの質問があり、中村理事から、現在実習経費が厳しいとの話はないが、各学部とも効率化係数が掛かり、段々と予算が厳しくなっていくことから、各学部の要望を踏まえ対応していきたいとの説明があった。

(5) 国立大学法人徳島大学中期財政見通しについて

財務部長から、国立大学法人徳島大学中期財政見通しについて、別紙報告5資料により報告があり、附属病院の債務償還経費について、意見交換が行われた。

(以上)